認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の変更申請書

2019年5月15日

(申請者[※]) 日本自然エネルギー株式会社 代表取締役社長 福田 敦

認定グリーンエネルギー CO_2 削減計画の申請内容の変更について、下記の通り申請いたします。

認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の概要

	WW.		
認定番号	12-B1-008	認定年月日	平成25年3月29日
発電種別	バイオマス発電 (鶏糞、バガス等)		
計画名	鶏糞、バガスを利用した発電によるCO2排出削減		
申請者	日本自然エネルギー株式会社		
発電所名	球陽製糖㈱バガス発電施設		
発電所所在地	沖縄県うるま市字川田330番地1		
設備容量	1,800kW		
検証機関名	一般財団法人日本エネルギー経済研究所		

申請内容 (該当する項目に○をつける)

1. 届出内容の変更 2. 認定の廃止 (廃止日: 年 月 日)

変更対象項目	変更前	変更後
発電所名の変更	球陽製糖㈱バガス発電施設	ゆがふ製糖㈱バガス発電施設

提出資料 様式1-2、様式1-2別紙1添付

(計画認定時に提出された申請資料のうち変更となる項目を含む資料名を記入の上、当該資料を添付すること)

変更理由

(変更の経緯を含め詳細理由を記載すること。また、内容変更年月日、誤りを確認した年月日を併せて記載すること。) 球陽製糖㈱バガス発電施設を所有する球陽製糖株式会社が会社合併により会社名が変更されたことに伴い、発電設備名称も変更となったため。

※申請者を変更する場合には、押印欄を追加して 新旧の申請者名記載し、捺印すること

グリーンエネルギーCO2削減等計画書

- 1 グリーンエネルギーCO2削減計画
 - 1. 1 グリーンエネルギーCO₂削減計画の名称 鶏糞・バガスを利用した発電による CO₂ 排出削減
 - 1. 2 グリーンエネルギー CO_2 削減計画に関わる設備(詳細) 別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギー CO_2 削減事業リスト」 1 . 参照。
 - 1. 3 グリーンエネルギーCO₂削減計画に適用される方法論
 - 注1) 本計画に適用される方法論にチェックすること。

チェック	種別方法論	種別方法論名称	
	番号		
	P001	風力発電	
	P002	太陽光発電	
\checkmark	P003-1	バイオマス発電 (鶏糞、バガス等)	
	P003-2	バイオガス発電	
	P003-3	木質バイオマス発電	
	P004-1	河川に設置する新設水力発電	
	P004-2	既設設備等に付加して設置される水力発電	
	P005	地熱発電	
	H001-1	太陽熱(強制循環式給湯用ソーラーシステム(単独供給方式))	
	H001-2	太陽熱(強制循環式給湯用ソーラーシステム(複数供給方式))	
	H001-2	太陽熱(太陽熱利用セントラルシステム(給湯・暖房))	
	H002-1	バイオマス熱 (木質バイオマス熱利用システム)	
	H002-2	バイオマス熱 (木質バイオマス蒸気供給施設 (熱電供給システム))	
	H003	雪氷エネルギー (熱交換冷水循環式雪氷エネルギー施設)	

1. 4 方法論で定める要件への適合性

別紙2①「グリーン電力要件チェックリスト」又は別紙2②「グリーン熱要件チェックリスト」参照。

1. 5 グリーンエネルギーCO2削減相当量の算定

注 1)「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の 4. グリーンエネルギー CO_2 削減相当量の算定方法を記載すること。

 $E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$

 $S_B = F_B \div F_T$

 $E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{electricity,t}$

記号	定義	単位
E _{BS}	バイオマス発電実施期間における系統への販売電力	kWh
	量	
E _{BC}	バイオマス発電実施期間における自家消費電力量	kWh
$E_{ m BG}$	バイオマス発電実施期間における発電発電電力量	kWh
\mathbf{E}_{BA}	バイオマス発電実施期間における発電補機消費電力	kWh
	量	
S_{B}	投入燃料に占めるバイオマス比率	%
F_{B}	発電に使用したバイオマス燃料	MJ
F _T	発電に使用した燃料合計	MJ
E _{MB}	バイオマス発電実施期間における排出削減量	$ m kgCO_2$
CEF _{electricity,t}	バイオマス発電実施期間における電力の二酸化炭素	kgCO ₂ /kWh
	排出係数	

1. 6 J-クレジット制度への申請又は登録の有無

申請中(未登録)	登録		申請・登録なし	\checkmark
----------	----	--	---------	--------------

注 1)「申請中(未登録)」又は「登録」のどちらかを選択した場合はどのようにして重複を排除するのかを記載すること。

- 2 グリーンエネルギー運営・管理計画
 - 2. 1 各グリーンエネルギーCO2削減事業の実施者によるモニタリング方法及び報告方法
 - 注 1)各グリーンエネルギー CO_2 削減事業の実施者におけるモニタリング方法、及び当該実施者から運営・管理者への報告方法(体制)を記載すること。
 - 注 2) 各グリーンエネルギー CO_2 削減事業のモニタリング責任者及び実施者については別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギー CO_2 削減事業リスト」 4 . 参照。
 - (1) グリーンエネルギーCO2 削減事業実施者(発電事業者)
 - 【1】毎月末または毎四半期末において、モニタリング実施者およびモニタリング責任者にて、日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料など、グリーン電力発電電力量を算出するために必要となる資料を作成する。
 - 【2】 毎月初めまたは毎四半期初めにおいて、メール・FAX・郵送などにより、グリーンエネルギー CO2 削減事業実施者より運営・管理者へ報告する。
 - (2) 運営・管理者(証書発行事業者:日本自然エネルギー(株))
 - 【1】 グリーンエネルギーCO2 削減事業実施者から受領したデータをもとに、各四半期のグリーン電力発電電力量を算出する。
 - 【2】 算出したグリーン電力発電電力量について、検証機関による検証終了後、グリーンエネルギー CO2 削減相当量認証委員会事務局へ報告する。

なお、グリーン電力発電電力量の計量体制を様式1-2別紙添付に示す。

2. 2 モニタリングの対象及び方法

注 1)「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の 5. 算定根拠に係るモニタリング方法に 掲げられている記号と、それに係る定義、単位、モニタリング方法を記載すること。

.,, .	3 H2 V 2 V 2 V 1 V 1 V 2 V 2 V 2 V 1	1 1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
記号	定義	単位	モニタリング方法
E_{BS}	バイオマス発電実施期間に	kWh	検定済み電力計による計測
	おける系統への販売電力量		
E _{BG}	バイオマス発電実施期間に	kWh	検定済み電力計による計測
	おけるバイオマス発電発電		
	電力量		
E_{BA}	バイオマス発電実施期間に	kWh	電力計による計測又は補機容量に稼働時間を乗じ
	おけるバイオマス発電補機		た値
	消費電力量		
F_{B}	発電に使用したバイオマス	MJ	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書
	燃料		をもとに算定
F_{T}	発電に使用した燃料合計	MJ	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書
			をもとに算定
CEF_{elect}	バイオマス発電実施期間に	$kgCO_2$	デフォルト値を利用
ricity,t	おける電力の二酸化炭素排	/kWh	CEFelectricity, $t = \text{Cmo} \cdot (1 - f(t)) + \text{Ca}(t) \cdot f(t)$
	出係数		ここで、
			t :事業開始日以降の経過年

Cmo: 限界電源二酸化炭素排出係数
Ca(t): t年に対応する全電源二酸化炭素排出係数
f(t): 移行関数
0 [0≦t<1年]
$f(t) = \begin{cases} 0.5 [1年 \le t < 2.5 \ne] \end{cases}$
1 [2.5 年≦t]

- 3 グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画
 - 3. 1 グリーンエネルギー CO_2 削減相当量保有予定者に関する情報 別紙 3 「グリーンエネルギー CO_2 削減相当量配分計画」 1. 参照。
 - 3.2 環境価値が除かれた電気価値・熱価値の帰属先に関する情報 別紙3「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画」2.参照。

種別方法論名称:バイオマス発電(鶏糞、バガス等) 発 電 所 名 称:ゆがふ製糖(株)バガス発電施設

1. 計量体制

計量体制(電力量の計量の管理体制)				
(1)計量器維持•管理				
責任者	実施者			
(2)データの測定				
責任者	実施者			
(3)報告書の作成				
報告書作成者				
報告書最終承認者				
報告書受領者(証書発行事業者)				

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
\mathbf{E}_{BS}	バイオマス発電実施期 間における系統への販 売電力量	対象無し	対象無し
E _{BG}	バイオマス発電実施期 間におけるバイオマス 発電発電電力量	検定済電力量計にて計測	発電電力量メーター写真
Ева	バイオマス発電実施期 間におけるバイオマス 発電補機消費電力量	補機定格出力に、製糖期報(月 報)に記載された発電時間を乗 じる	製糖期報(月報)
F_{B}	発電に使用したバイオ マス燃料	日本分蜜糖工業会へ提出している製糖期報(月報)にて確認	製糖期報(月報)
F_{T}	発電に使用した燃料合 計	日本分蜜糖工業会へ提出している製糖期報(月報)にて確認	製糖期報(月報)

検証結果報告書

2019年5月15日

日本自然エネルギー株式会社 代表取締役社長 福田 敦 殿

> (住所)東京都千代田区神田須田町1-25 JR 神田万世橋ビル (名称)一般財団法人 日本品質保証機構

理事 浅田 純男

部

一般財団法人 日本品質保証機構は、日本自然エネルギー株式会社が作成した「認定グリーンエネルギー CO_2 削減計画の変更申請書」(排出削減事業の名称: 鶏糞・バガスを利用した発電による CO_2 排出削減)について、「グリーンエネルギー CO_2 削減相当量認証制度運営規則」に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人 日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2削減計画の概要

グリーンエネルギーCO ₂ 削 減計画名	鶏糞・バガスを利用した発電による CO2 排出削減
グリーンエネルギーCO ₂ 削減計画申請者名	日本自然エネルギー株式会社
事業実施場所	沖縄県うるま市字川田 330 番地 1
事業の概要	球陽製糖(株)バガス発電施設

2. 検証結果

- 認定済グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更。
- 認定番号 12-B1-008。認定日 H25.3.29。
- 本事業のグリーン電力設備認定日は、2010年12月20日、認定番号10B352。
- 球陽製糖㈱バガス発電施設を所有する球陽製糖株式会社が会社合併により会社名が変更されたことに伴い、発電設備名称も変更となったため、対象発電設備の名称をゆがふ製糖㈱バガス発電施設に変更するもの。尚、グリーンエネルギー認証制度における同設備名称変更は 2016 年 1 月 22 日に完了している。

上記ならびに以下に示す実施した検証手続の概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO2 削減計画がグリーンエネルギーCO2 削減相当量認証制度運営規則に定める要件および方法論に適合しているものと判断できる。

(添付資料)

- 1) 認定グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更申請書
- 2) 様式 1-2 グリーンエネルギーCO2 削減等計画書_鶏糞、バガス
- 3) 認定通知書(グリーンエネルギーCO2削減計画の認定について)
- 4) 様式 1-2 別紙 1 添付(計量体制) 【バイオマス(鶏糞・バガス)・ゆがふ】
- 5) グリーン電力設備変更申請書一式 (球陽→ゆがふ)

認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の変更申請書

2019年 3月 8日 (申請者*) ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 代表取締役 伊藤 敦 ⑩

認定グリーンエネルギー CO_2 削減計画の申請内容の変更について、下記の通り申請いたします。

認定グリーンエネルギーCO。削減計画の概要

認定番号	16-B3-001	認定年月日	平成 28 年 8 月 31 日
発電種別	木質バイオマス発電		
計画名	木質バイオマス発電によるグリーン電力を使用したCO2削減計画		
申請者	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社		
発電所名	兵庫パルプ工業株式会社谷川工場発電所		
発電所所在地	兵庫県丹波市山南町谷川858番地		
設備容量	18, 000kW		
検証機関名	グリーンエネルギー認証センター		

申請内容 (該当する項目に○をつける)

(1.) 届出内容の変更 2. 認定の廃止 (廃止日: 年 月 日)

変更対象項目	変更前	変更後
設備容量	18,000kW	18,900kW

提出資料

(計画認定時に提出された申請資料のうち変更となる項目を含む資料名を記入の上、当該資料を添付すること) グリーン電力発電設備概要書 (附属書2)

変更理由

(変更の経緯を含め詳細理由を記載すること。また、内容変更年月日、誤りを確認した年月日を併せて記載すること。) 平成26年2月1日から運用変更していたが、CO2削減計画認定申請時の記載に間違いがあり、 今回訂正を行うもの。

※申請者を変更する場合には、押印欄を追加して 新旧の申請者名記載し、捺印すること

以上

検証結果報告書

2019年3月26日

ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 代表取締役 伊藤 敦 殿

> (住所)東京都千代田区神田須田町1-25 JR 神田万世橋ビル (名称)一般財団法人 日本品質保証機構

理事 浅田 純男

印

一般財団法人 日本品質保証機構は、ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社が作成した「認定グリーンエネルギーCO²削減計画の変更申請書」(排出削減事業の名称:木質バイオマス燃料を利用した発電による CO² 排出削減)について、「グリーンエネルギーCO² 削減相当量認証制度運営規則」に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人 日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2 削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2 削減計画名	木質バイオマス燃料を利用した発電による CO2 排出削減
グリーンエネルギーCO2 削減計画申請者名	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
事業実施場所	兵庫県丹波市山南町谷川 858 番地
事業の概要	兵庫パルプ工業株式会社谷川工場発電所

2. 検証結果

- 認定済グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更。認定番号 16-B3-001。認定日 2016.8.31。
- 本事業のグリーン電力設備認定日は、2008年9月30日、認定番号08B013。
- CO2 削減計画認定申請時の申請資料において、異なった設備容量を記載していたため、今回 訂正を行うもの。 $(18,000 \mathrm{kW} \rightarrow 18,900 \mathrm{kW})$
- グリーン熱のグリーン熱量認証申請時の審査資料を確認し、今回提出されている「認定グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更申請書」に審査内容が反映されていることを確認。

上記ならびに以下に示す実施した検証手続の概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO2 削減計画がグリーンエネルギーCO2 削減相当量認証制度運営規則に定める要件および方法論に適合しているものと判断できる。

(添付資料)

- 3. の各項目の根拠資料
- 1) 認定グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更申請書
- 2) グリーン電力発電設備概要書